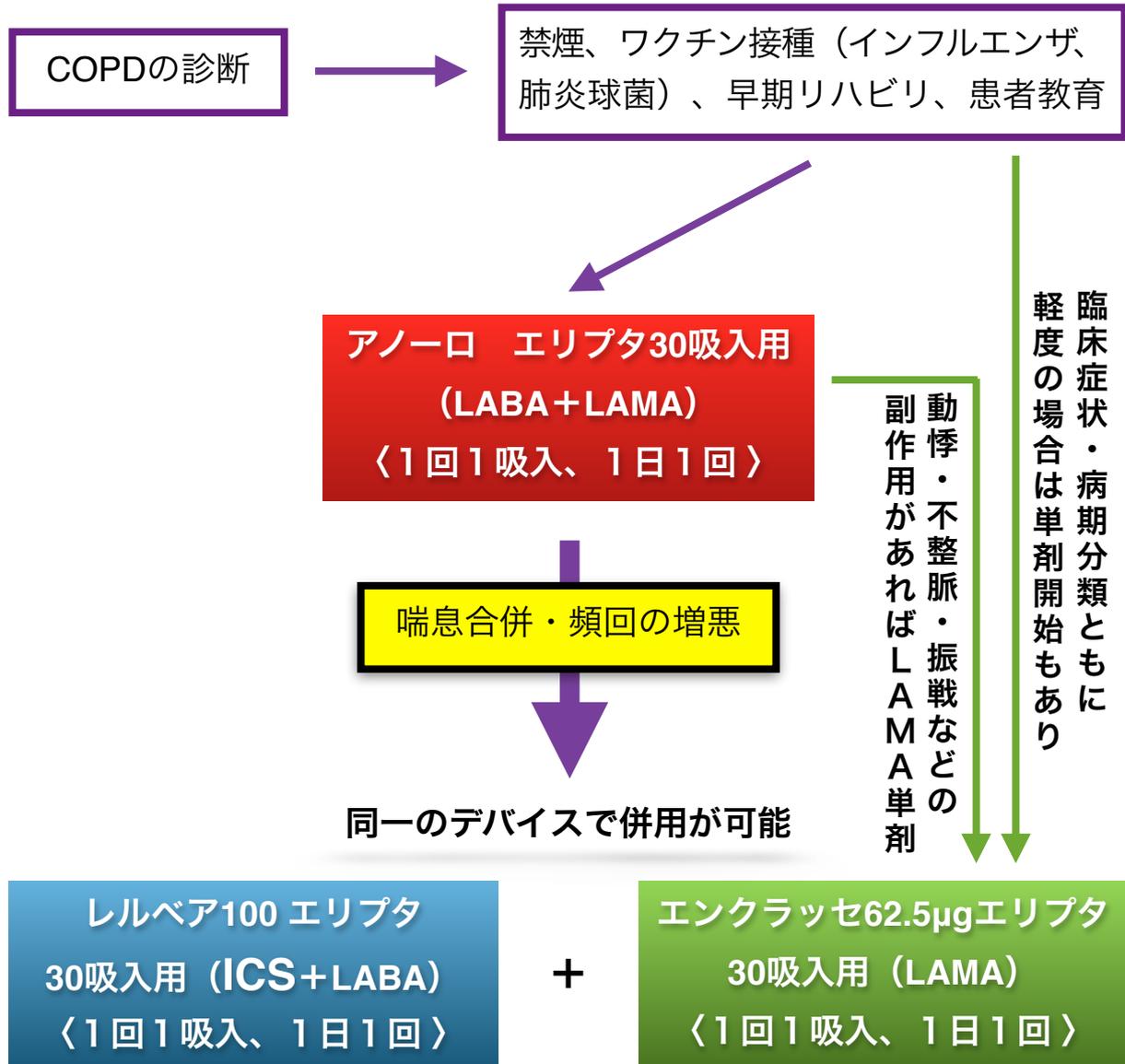


## <治療>

**病期分類・症状の程度・増悪の頻度** などから重症度を総合的に判断した上で治療法を選択する

- COPDガイドライン：別紙 参照
- COPD吸入薬フローチャート（岐阜民医連 独自基準）



※レルベアは「喘息」のレセ病名が必要

### <エリプタ>

- 1日1回1吸入という簡便さ
- 1ステップで吸入可能
- 吸気抵抗はディスクスと同等



## ※アノーロ エリプタ (LABA+LAMA) がどうしても困難な場合

吸気速度が足りず（吸う力がなく）、エリプタ製剤が難しそう

- トレーナーで笛が鳴らない
- 練習用キットで乳糖の甘さを感じない

十分な吸入指導を行うが（目安は2~3回にわたって）、それでも上記の状況が変わらない場合、  
情報提供書や疑義照会を通じて薬剤を変更

・できるかぎり操作が簡便  
であることを優先

・ブリーズヘラーが扱える  
・合剤であることを優先

スピリーバ2.5µgレスピマット  
60吸入 (LAMA)  
〈1回2吸入、1日1回〉  
※長期処方可になったら  
スピオルト (LABA+LAMA)

ウルティプロ吸入用カプセル  
(LABA+LAMA)  
〈1回1吸入、1日1回〉

### <レスピマット>

- 普通の呼吸で吸入すればよい  
(勢いよく吸わなくてよい)
- 初回のカートリッジ  
装填は従来どおり  
薬剤師が行う



### <ブリーズヘラー>

- 吸気抵抗が少ない  
(エリプタより吸いやすい)
- 1カプセルを毎回セット必要
- 吸入までに3ステップ要する
- カプセルがシートから取り  
出しにくい

